








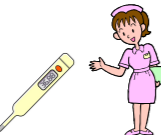

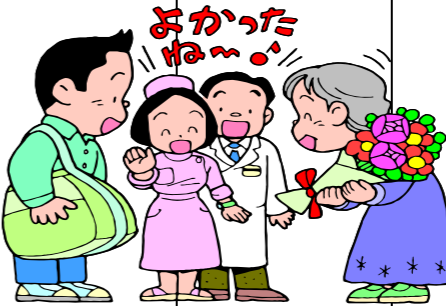


胃瘻造設術を受けられる

様へ

パスコード:00050 世代:0

経過	入院日	治療前	治療後	治療後1日目	治療後2日目	治療後3日目	治療後4日目	治療後5日目	治療後6日目	治療後7日目	治療後8日目 退院日	退院後の診察	
月日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
達成目標			・創痛や嘔気・嘔吐などの不快な症状がない	・PEGの仕組み・管理について理解できる ・瘻孔周囲の清潔が保てる							・PEGの管理ができる ・瘻孔周囲の清潔が保てる	・療養生活が継続できる ・皮膚トラブルや胃瘻カテーテルのトラブルが起こらない ・逆流や誤嚥防止ができる	
治療・処置 検査 薬剤(点滴)	薬剤師より治療後の薬について説明があります 	手術当日、主治医の指示がない限りすべて休薬です 点滴を行います(治療後2日目まで点滴を続けます) 	主治医と相談の上、内服が(抗凝固薬以外)再開します 	瘻孔周囲の清拭と胃瘻カテーテルの回転を行います 採血(朝) 						採血(朝) 		<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 20px; padding: 10px; background-color: #fff9c4;"> <p style="text-align: center;">退院後の療養上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漏れや皮膚トラブルがないか、胃瘻カテーテルが回転し上下にゆとり(1cm程度)をもって動くか毎日観察してください。 ・観察時や注入時にティッシュやウェットティッシュ、ぬるま湯などで胃瘻周辺をきれいに拭いて清潔に保ってください。 ・痰がらみが強かったり、嘔吐するときは注入を一旦止めて医療機関に相談してください。 ・便秘や下痢を起こすことがあります。適切なお薬を使い排便コントロールをしてください。 ・チューブが詰まった時は、まずは「フラッシュ」をしてください。それでも詰まりが取れないときは病院に連絡してください。 ・チューブが抜けた時はすぐに医療機関に連絡し、受診してください。 </div>	
食事	22時以降絶食です	絶飲食です 	絶飲食です	血液検査が問題なければ、白湯から始め、注入食(昼)を開始します			注入食を2回にします				注入食を3回にします		
安静度	制限ありません	床上安静です	床上安静です	制限ありません 									
排泄													
清潔	制限ありません			体を拭きます ベット上で洗面します	体を拭きます 洗髪をします 		体を拭きます	シャワーができません 					
退院支援	退院後の生活についてお聞きします										退院後の療養生活環境の調整を行います		
患者様及びご家族への説明	持参薬の確認をさせていただきます 医師より入院・治療について説明があります 名前確認のためにネームバンドをつけさせていただきます レンタルパジャマの希望についてうかがいます 入院中検温があります 不安なことがあれば相談してください	病棟を離れる際はスタッフステーションに声をかけてください 治療の時間になりましたら声をお掛けします (1階41番内視鏡室へいきます) 	治療後咽頭痛・腹痛・吐き気・嘔吐など何か変わったことがあれば教えてください 	経管栄養指導【PEGの管理・注入方法について説明を行います】	経管栄養指導【PEGの管理・注入手技の練習をご家族様と行います】								

注)この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状に合わせてその都度変更する場合がありますのでご了承ください。